

賛否などの態度決定に至った理由・討論

令和5年3月定例会	
議案番号 議案名	第98号～第111号 農業委員会委員の任命について
議員名・会派名等	ミール計恵 日本共産党
賛否態度	反対
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>私たち日本共産党は、本会議および委員会での討論という議員の権能を最大限に活かすことこそ責任であると考えます。</p> <p>非公式のこの場に、議会で発言してもいない議員が意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるとの考えから、以下、本会議・委員会など公の場で討論した内容（抜粋）を掲載いたします。</p> <p>議案第 98 号から第 111 号まで、農業委員会委員の任命について、につきまして、会派を代表して討論いたします。</p> <p>農業委員会委員の推薦について、前回3年前の農業委員会委員の任命の際にも多くの議員から質疑と指摘のあった、選考過程の透明性という視点から申し上げます。</p> <p>まず今回のお二人の質疑や事前のヒアリングからは、残念ながら審査の透明性は改善されていない、と感じました。</p> <p>具体的には、農業委員は5名の評価委員の評価を受け候補者となるのですが、この評価委員の公表を前回の答弁では「公表予定」としていましたが、いまだに公表されていません。農業委員の選考の核となるのは評価委員であり、その評価をだれが行っているかわからないのでは、その評価の信頼性もゆらぎかねません。しかも公表予定と答弁していたのですから、ただちに公表すべきであります。</p> <p>また、選考基準についても公表されていません。事前の聞き取りでは公表予定とのことでしたが、評価委員の公表についても公表予定といってから3年たっても公表していないので公表されるかは疑問です。『さらに、先ほどの質疑にもありましたが、なぜ選ばれなかったのか、についても明らかにならず、これでは落選した方はなぜ落ちたかわからず、今後も農業委員を希望する場合、何を改善すればいいのかすらわかりません。』</p> <p>さらに、候補者の資料が前回はホームページに公開されていましたが、今回は現時点で確認できませんでした。候補者の経歴、農業経営の状況や応募理由は、候補者が適任かどうか判断するうえで重要な項目です。他市の状況を確認したところ柏市では、候補者の経歴、農業経営の状況（主要作物、耕作面積、経営形態、営農年数）、推薦者の概要と推薦理由、立候補の場合は応募理由など詳細が公開されています。しかし松戸市では今回はそれを確認できませんで</p>

した。大きな後退だと思います。

そして、落選された2名の非農業者の方ですが、理由は残念ながら明らかになりませんでした。しかし松戸市の農業は都市農業であり、生産緑地など市街地の中にある農業では市民の農業への理解が農業を続けていくうえでも重要なカギとなるものと思います。そうであれば、非農業の中立委員をもっと増やし、松戸市の農業に農業者でない方の多様な意見も取り入れていくことが、後継者も農地も減り続けている本市の農業振興にも寄与するのではないのでしょうか。

推薦された方々に問題があるとは一切思っておりません。しかし事前の聞き取り、本日の質疑から、前回指摘されていた透明性などの課題が依然として残り、情報がほとんど公開されない状況では、選考された委員が適任かを判断できません。むしろ透明度が後退している部分もあるなど現状では本議案に賛成することは難しいと考えます。

以上、農業委員会委員の選任方法への改善を強く求めまして、会派を代表しての反対討論といたします。

2023年2月28日 本会議 討論  
日本共産党のミール計恵です。